

## 第2章 高齢者を取り巻く現状

### 1 八王子市の高齢者の状況

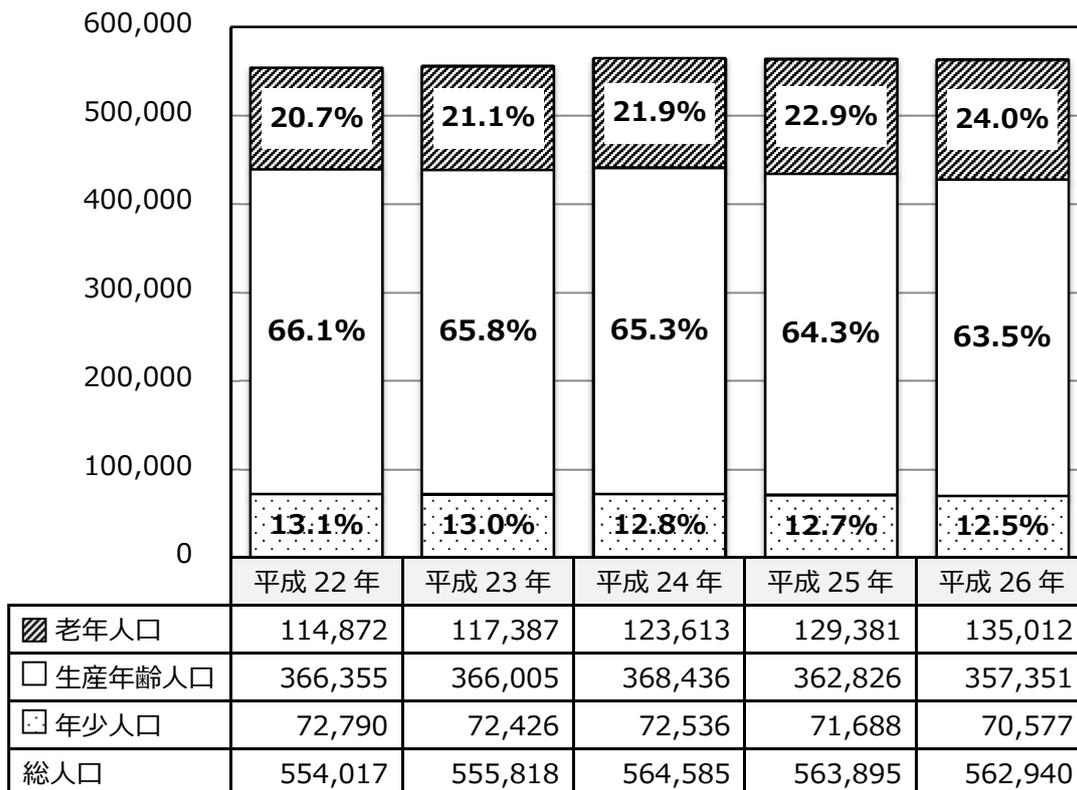
#### (1) 高齢者人口の推移

～本市においても、少子高齢化がより本格化～

○本市の年齢3区分別人口の推移をみると、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は微減傾向にありますが、老年人口（65歳以上）は一貫して増加しており、平成22年から26年までに約2万人増加しています。

○それに伴い、老年人口の比率（高齢化率）も増加し、平成26年には24%に達しました。年少人口は平成22年から26年までに約2千人減少しており、本市の少子・高齢化が本格化していることがうかがえます。

総人口・年齢3区分別人口の推移



資料：住民基本台帳（各年9月末時点）〔単位：人〕

※ 以下、データの処理については、小数点以下第2位の四捨五入により、各項目の合計値が100.0%にならない場合があります。

総人口・年齢3区分別人口の推移（再掲）

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
年少人口 (0～14 歳)	72,790 (13.1%)	72,426 (13.0%)	72,536 (12.8%)	71,688 (12.7%)	70,577 (12.5%)
生産年齢人口 (15～64 歳)	366,355 (66.1%)	366,005 (65.8%)	368,436 (65.3%)	362,826 (64.3%)	357,351 (63.5%)
老年人口 (65 歳以上)	114,872 (20.7%)	117,387 (21.1%)	123,613 (21.9%)	129,381 (22.9%)	135,012 (24.0%)
総人口	554,017	555,818	564,585	563,895	562,940

資料：住民基本台帳（各年 9 月末時点）〔単位：人〕

## （2）高齢者世帯の状況

～高齢者世帯の増加が進み、ひとり暮らしや夫婦のみの高齢者世帯も増加～

- 平成 17 年から 22 年までに、高齢者のいる世帯総数は約 1 万 5 千世帯増加し、一般世帯総数に占める高齢者のいる世帯総数の比率は、約 27.7%から約 31.3%に増加し、世帯の高齢化が進んでいることがわかります。
- また、高齢者のいる世帯総数のうちで「ひとり暮らし高齢者世帯」は 5 年間で約 6 千世帯の増加（一般世帯総数における比率は、6.2%から 8.1%へ増加）をみせており、高齢者の単身世帯が増加している状況がうかがえます。

高齢者世帯の状況と推移

	平成 17 年	平成 22 年
高齢者のいる世帯総数	63,084 (27.7%)	77,983 (31.3%)
うち 子らとの同居世帯	19,576 (8.6%)	28,101 (11.3%)
うち ひとり暮らし高齢者世帯	14,075 (6.2%)	20,123 (8.1%)
うち 夫婦のみの高齢者世帯	14,589 (6.4%)	19,489 (7.8%)
うち その他的高齢者世帯	14,844 (6.5%)	10,270 (4.1%)
一般世帯総数	227,804	249,512

資料：国勢調査（各年 10 月 1 日時点）〔単位：世帯〕

## （3）高齢者の就労状況

～第 3 次産業への就労が多いが、第 1 次産業を高齢者が支えている側面も～

- 高齢者の就労状況（第 1 次・第 2 次・第 3 次産業<sup>\*36</sup>別）をみると、第 1 次産業に就労する高齢者の比率が比較的高いことがわかります。
- 都との比較では、第 1 次産業に就労する高齢者の比率がより高くなっています。

\*36 第 1 次・第 2 次・第 3 次産業（だいいちじ・だいにじ・だいさんじさんぎょう） 180 ページ参照

## 65歳以上の産業分類別就労状況

	八王子市		東京都	
	総数	65歳以上	総数	65歳以上
第1次産業	1,557 (0.6%)	694 (2.9%)	22,400 (0.4%)	9,013 (1.4%)
第2次産業	49,126 (19.3%)	4,126 (17.4%)	912,116 (15.2%)	109,869 (17.4%)
第3次産業	177,219 (69.8%)	16,241 (68.4%)	4,256,323 (70.8%)	443,536 (70.3%)
分類不能	26,018 (10.2%)	2,677 (11.3%)	821,697 (13.7%)	68,195 (10.8%)
総数	253,920	23,738	6,012,536	630,613

資料 平成22年国勢調査〔単位：人〕

**(4) 認知症高齢者数（日常生活自立度Ⅱ以上の人数）の推移**

認知力に課題のある高齢者数（第1号被保険者のうち、日常生活自立度Ⅱ以上の人  
数）は年々増加しており、平成25年度末で11,536名となっています。

## 認知症高齢者数（日常生活自立度Ⅱ以上）

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
8,817	9,405	9,903	10,971	11,536

資料：福祉部 介護保険課（各年度末時点）〔単位：人〕

※ 「認知症高齢者の日常生活自立度」は、判定基準によって大きくⅠ～Ⅳ、Ⅴの段階があり、Ⅱは「日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる」状態を指し、見守りまたは支援が必要であることを表しています。

**(5) かかりつけ医<sup>\*37</sup>に関する状況**

かかりつけ医に関する状況として、本市で実施した『市政世論調査』によると、「かかりつけの医療機関を決めているか」については、平成25年と26年では「大体同じ病院・医院にかかっている」が回答の半数以上を占めました。

質問：あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。（○は1つだけ）

	平成25年	平成26年
大体同じ病院・医院にかかっている	51.3%	51.4%
病気の内容により、利用する病院・医院が決まっている	30.2%	31.4%
決めていない	17.6%	16.2%
無回答	0.9%	0.9%

資料：総合経営部 広聴課『市政世論調査』〔単位：％〕

\*37 かかりつけ医（かかりつけい） 177ページ参照

## (6) 住まいの状況

～都平均と比較して、高齢者の「戸建志向・持ち家志向」が高い～

○65歳以上の高齢者がいる一般世帯の住宅の建て方の状況をみると、一戸建に住む世帯数は66.6%と全体の約3分の2を占めており、都（52.9%）に比べてかなり高くなっています。

○同様に、高齢者がいる世帯の住宅の所有状況をみると、持ち家に住む世帯数は約76%で、都の約68%を上回っています。

高齢者がいる世帯の住宅の建て方の状況

種別	八王子市		東京都	
	一般世帯	65歳以上世帯員が いる一般世帯	一般世帯	65歳以上世帯員が いる一般世帯
一戸建	107,703 (43.2%)	51,929 (66.6%)	1,923,456 (30.1%)	972,482 (52.9%)
長屋建	5,074 (2.0%)	1,470 (1.9%)	87,865 (1.4%)	23,181 (1.3%)
共同住宅 (長屋以外)	133,583 (53.5%)	24,309 (31.2%)	4,258,994 (66.7%)	828,891 (45.1%)
上記以外	3,152 (1.3%)	275 (0.4%)	111,734 (1.8%)	12,520 (0.7%)
総数	249,512	77,983	6,382,049	1,837,074

資料：平成22年国勢調査〔単位：世帯〕

高齢者がいる世帯の住宅の所有状況

種別	八王子市		東京都	
	一般世帯	65歳以上世帯員が いる一般世帯	一般世帯	65歳以上世帯員が いる一般世帯
持ち家	136,930 (54.9%)	59,231 (76.0%)	2,927,775 (45.9%)	1,252,659 (68.2%)
公営・都市再生 機構・公社の借家	23,206 (9.3%)	9,913 (12.7%)	512,620 (8.0%)	249,185 (13.6%)
民営の借家	80,325 (32.2%)	8,006 (10.3%)	2,533,628 (39.7%)	297,281 (16.2%)
給与住宅	3,864 (1.5%)	200 (0.3%)	210,748 (3.3%)	9,817 (0.5%)
間借り	2,429 (1.0%)	488 (0.6%)	103,443 (1.6%)	22,547 (1.2%)
上記以外	2,758 (1.1%)	145 (0.2%)	93,835 (1.5%)	5,585 (0.3%)
総数	249,512	77,983	6,382,049	1,837,074

資料：平成22年国勢調査〔単位：世帯〕

- ※ 「長屋建」は、二つ以上の住宅を一棟に建て連ねたもので、各住宅が壁を共通にし、それぞれ別々に外部への出入口がついているもので、いわゆる「テラス・ハウス」も含まれます。
- ※ 「共同住宅」は、棟の中に二つ以上の住宅があるもので、廊下・階段などを共用しているものや二つ以上の住宅を重ねて建てたものです。
- ※ 「公営の借家」は、その世帯の借りている住宅が、都道府県営又は市（区）町村営の賃貸住宅やアパートであって、かつ給与住宅でない場合を意味します。「都市再生機構・公社の借家」は、その世帯の借りている住宅が、都市再生機構又は都道府県・市区町村の住宅供給公社・住宅協会・開発公社などの賃貸住宅やアパートであって、かつ給与住宅でない場合を意味します。
- ※ 「給与住宅」は、勤務先の会社・官公庁・団体などの所有又は管理する住宅に、職務の都合上又は給与の一部として居住している場合を指し、家賃の支払の有無を問わず、また、勤務先の会社又は雇主が借りている一般の住宅に住んでいる場合も含まれます。
- ※ 「間借り」は、他の世帯が住んでいる住宅（持ち家、公営の借家、都市再生機構・公社の借家、民営の借家、給与住宅）の一部を借りて住んでいる場合を意味します。

## （7）地域資源の状況など

### ① NPO\*<sup>38</sup>法人数

市内に事務所がある NPO 法人数は年々増加し、平成 25 年度は 274 団体となり、さまざまな分野で公益的な市民活動を行っています。

市内に事務所がある認証 NPO 法人数

平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
207	228	245	271	274

資料：市民活動推進部 協働推進課（各年度末時点）〔単位：団体〕

### ② 民生・児童委員\*<sup>39</sup>数

民生・児童委員数は、市内を 20 の担当地域に分けて受け持ち、平成 26 年度は 443 人が身近な相談相手として日々、地域で活動しています。

民生・児童委員数

平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
395	399	436	436	438	443

資料：福祉部 福祉政策課（各年度 4 月 1 日時点）〔単位：人〕

### ③ 町会・自治会

町会・自治会は、平成 26 年度で市内に 566 団体があり、156,264 世帯が加入しています。

\*<sup>38</sup> NPO（えぬぴーおー） 176 ページ参照

\*<sup>39</sup> 民生・児童委員（みんせい・じどういいん） 185 ページ参照

## 町会・自治会の団体数と加入世帯数

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
団体数	557	557	558	563	564	566
加入世帯数	156,891	157,448	157,291	157,700	156,633	156,264

資料：市民活動推進部 協働推進課（各年度 6 月 1 日時点）〔単位：団体、世帯〕

④ ボランティアセンター\*<sup>40</sup>へのボランティア登録数

ボランティアセンターへのボランティア登録数は、ボランティアグループ団体登録数が平成 25 年度は 202 団体、個人登録者数が 436 人となっています。

ボランティアセンターへのボランティア登録数（団体・個人）

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
団体登録数	181	188	191	201	202
個人登録者数	522	509	492	492	436

資料：社会福祉協議会\*<sup>41</sup> ボランティアセンター（各年度末時点）〔単位：団体、人〕

⑤ 高齢者ボランティア・ポイント制度\*<sup>42</sup>ボランティア登録者数

高齢者ボランティア・ポイント制度へのボランティア登録者数は年々増加し、平成 26 年末には 2,000 人の見込みとなっています。

高齢者ボランティア・ポイント制度ボランティア登録者数

平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 （見込み）
800	995	1,121	1,334	1,620	2,000

資料：福祉部 高齢者いきいき課（各年度末時点）〔単位：人〕

⑥ ふれあい・いきいきサロン\*<sup>43</sup>

高齢者が気軽に参加できる催しを地域の方々に自主的に運営している「ふれあい・いきいきサロン」は年々増加し、平成 26 年度には 105 か所で開催されています。

ふれあい・いきいきサロン数

平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
65	75	81	85	91	105

資料：福祉部 高齢者いきいき課（各年度末時点）〔単位：か所〕

\*<sup>40</sup> ボランティアセンター（ぼらんていあせんたー） 184 ページ参照

\*<sup>41</sup> 社会福祉協議会（しゃかいふくしきょうざいかい） 179 ページ参照

\*<sup>42</sup> 高齢者ボランティア・ポイント制度（こうれいしゃぼらんていあ・ぽいんとせいど） 178 ページ参照

\*<sup>43</sup> ふれあい・いきいきサロン（ふれあい・いきいきさろん） 184 ページ参照

⑦ シニアクラブ<sup>\*44</sup>

地域の高齢者が集まり、自主的にクラブを結成し、その知識と経験を生かしたボランティア活動や友愛活動、生きがいと健康づくり、趣味の活動を行っています。平成26年度には210クラブが運営されています。

シニアクラブ数

平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
261	251	238	225	218	210

資料：福祉部 高齢者いきいき課（各年度4月1日時点）〔単位：クラブ〕

## ⑧ 市内の高齢者福祉関連施設

施設
高齢者あんしん相談センター（市内15圏域に各1か所設置） 高齢者あんしん相談センター旭町 高齢者あんしん相談センター高尾 高齢者あんしん相談センター左入 高齢者あんしん相談センター中野 高齢者あんしん相談センター南大沢 高齢者あんしん相談センターめじろ 高齢者あんしん相談センター長沼 高齢者あんしん相談センター川口 高齢者あんしん相談センター元八王子 高齢者あんしん相談センター片倉 高齢者あんしん相談センター堀之内 高齢者あんしん相談センター長房 高齢者あんしん相談センター子安 高齢者あんしん相談センターもとはち南 高齢者あんしん相談センター寺田
大横保健福祉センター 東浅川保健福祉センター 南大沢保健福祉センター
恩方老人憩の家
長房ふれあい館
シルバーふらっと相談室館ヶ丘 <sup>*45</sup>
シルバー見守り相談室長房 <sup>*46</sup>

資料：福祉部 高齢者いきいき課（平成27年3月末時点）

\*44 シニアクラブ（しにあくらぶ） 179ページ参照

\*45 シルバーふらっと相談室館ヶ丘（しるばーふらっとそうだんしつたてがおか） 179ページ参照

\*46 シルバー見守り相談室長房（しるばーみまもりそうだんしつながぶさ） 180ページ参照

## 2 日常生活圏域別の状況

### (1) 圏域別高齢者人口の状況

～最も高齢化率が高い長房で 30%を超え、東部地域は 10%台

市内の圏域によって、高齢化の進行の違いが顕著に～

○日常生活圏域\*<sup>47</sup>別に高齢者の人口をみると、圏域内で高齢者人口が1万人を超えているのは、左入、中野、長沼、元八王子、堀之内の5圏域です。

○圏域別の高齢化率は9つの圏域で市平均の23.5%を上回っています。

○最も高齢化が進んでいる長房では30%台に達し、高尾、中野、めじろ台、長沼、川口、元八王子、もとはち南で25%を超えています。一方、東部の南大沢と堀之内、東南部の片倉では、高齢化率は10%台となっています。

日常生活圏域別 高齢者人口

日常生活圏域	八王子 ビジョン 2022 (6地域)	圏域内人口	圏域内 高齢者人口	高齢化率
(1) 旭町	中央	41,011	8,622	21.0%
(2) 高尾	西南部	26,714	6,742	25.2%
(3) 左入	北部	47,534	10,855	22.8%
(4) 中野	中央	41,002	10,782	26.3%
(5) 南大沢	東部	56,123	8,561	15.3%
(6) めじろ台	西南部	24,879	7,243	29.1%
(7) 長沼	東南部	38,321	11,090	28.9%
(8) 川口	西部	29,063	8,069	27.8%
(9) 元八王子	西部	41,378	11,841	28.6%
(10) 片倉	東南部	42,812	7,164	16.7%
(11) 堀之内	東部	54,463	10,480	19.2%
(12) 長房	西南部	19,490	6,210	31.9%
(13) 子安	中央	40,778	9,544	23.4%
(14) もとはち南	西部	28,617	7,909	27.6%
(15) 寺田	西南部	29,800	7,197	24.2%
八王子市全体		561,985	132,309	23.5%

資料：住民基本台帳（平成26年3月末時点）〔単位：人〕

\*<sup>47</sup> 日常生活圏域（にちじょうせいかつけんいき） 182 ページ参照

## (2) 圏域別高齢者世帯の状況

○市全体で、65歳以上の高齢者がいる世帯の比率は31.3%、75歳以上の高齢者がいる世帯は14.4%であり、高齢夫婦世帯は9.5%、高齢単身世帯は8.1%となっています。

○日常生活圏域別には、元八王子、長房、もとはち南で65歳以上の高齢者がいる世帯が40%台となっています。

日常生活圏域別 高齢者世帯区分

日常生活圏域	八王子 ビジョン 2022 (6地域)	一般 世帯数	65歳以上 世帯員の いる世帯数			
			うち 75歳以上 世帯員の いる世帯数	うち 高齢夫婦 世帯数	うち 高齢単身 世帯数	
(1) 旭町	中央	21,779	5,488 (25.2%)	2,687 (12.3%)	1,416 (6.5%)	1,810 (8.3%)
(2) 高尾	西南部	12,114	3,889 (32.1%)	1,825 (15.1%)	1,198 (9.9%)	976 (8.1%)
(3) 左入	北部	19,439	5,991 (30.8%)	2,514 (12.9%)	1,865 (9.6%)	1,280 (6.6%)
(4) 中野	中央	20,824	6,905 (33.2%)	3,500 (16.8%)	1,915 (9.2%)	2,078 (10.0%)
(5) 南大沢	東部	22,336	4,620 (20.7%)	2,129 (9.5%)	1,467 (6.6%)	1,106 (5.0%)
(6) めじろ台	西南部	11,469	4,539 (39.6%)	2,517 (21.9%)	1,493 (13.0%)	1,274 (11.1%)
(7) 長沼	東南部	17,250	6,608 (38.3%)	3,166 (18.4%)	2,363 (13.7%)	1,515 (8.8%)
(8) 川口	西部	10,984	4,306 (39.2%)	1,746 (15.9%)	1,362 (12.4%)	765 (7.0%)
(9) 元八王子	西部	15,328	6,279 (41.0%)	2,610 (17.0%)	1,905 (12.4%)	1,296 (8.5%)
(10) 片倉	東南部	16,833	4,127 (24.5%)	1,816 (10.8%)	1,286 (7.6%)	862 (5.1%)
(11) 堀之内	東部	27,731	6,208 (22.4%)	2,584 (9.3%)	1,976 (7.1%)	1,594 (5.7%)
(12) 長房	西南部	8,769	3,995 (45.6%)	1,849 (21.1%)	1,188 (13.5%)	1,275 (14.5%)
(13) 子安	中央	20,159	6,120 (30.4%)	3,293 (16.3%)	1,507 (7.5%)	1,845 (9.2%)
(14) もとはち南	西部	11,108	4,593 (41.3%)	2,042 (18.4%)	1,464 (13.2%)	1,090 (9.8%)
(15) 寺田	西南部	13,389	4,315 (32.2%)	1,760 (13.1%)	1,275 (9.5%)	1,357 (10.1%)
八王子市全体		249,512	77,983 (31.3%)	36,038 (14.4%)	23,680 (9.5%)	20,123 (8.1%)

資料：平成22年国勢調査〔単位：世帯〕

### 3 介護保険事業の現状

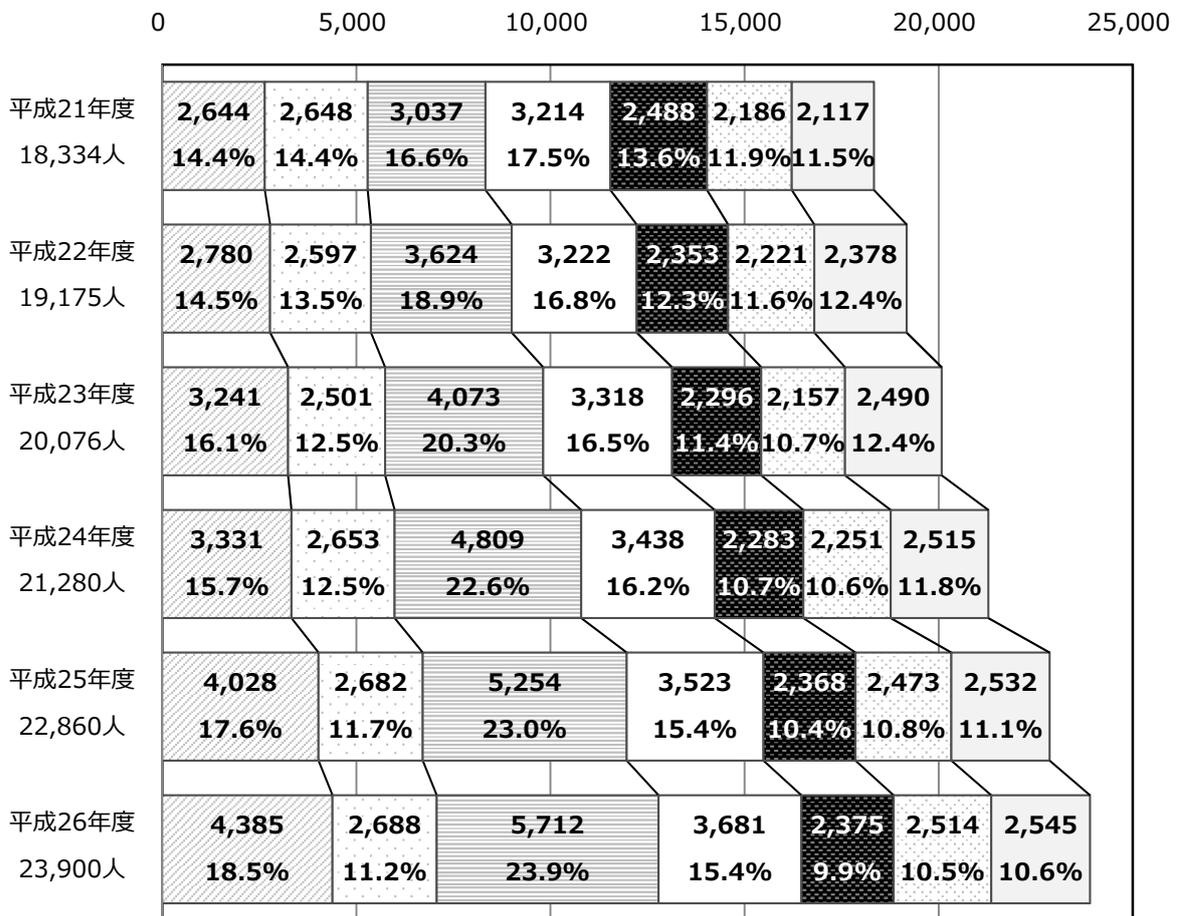
#### (1) 要支援・要介護認定者の状況

～年々増加する要支援・要介護認定者数、過去6年間で約30%増加～

○介護保険において要介護認定\*<sup>48</sup>を受けた方（要支援・要介護認定者）の数は、年々増加しており、平成21年度の18,334人から平成26年度は23,900人と、過去6年間で5,566人（約30%）増加しています。

○過去6年間で最も増加しているのは、要介護1の認定者で、平成21年度の3,037人から平成26年度は5,712人と、2,675人の増加（平成21年度比88.1%増）となっています。

要支援・要介護認定者数の推移



■ 要支援1 □ 要支援2 ■ 要介護1 □ 要介護2 ■ 要介護3 □ 要介護4 □ 要介護5

資料：福祉部 介護保険課「介護保険事業報告」（各年度9月末時点）〔単位：人〕

\*<sup>48</sup> 要介護認定（ようかいごにんてい） 185 ページ参照

## 要支援・要介護認定者数の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
要支援 1	2,644	2,780	3,241	3,331	4,028	4,385
要支援 2	2,648	2,597	2,501	2,653	2,682	2,688
要介護 1	3,037	3,624	4,073	4,809	5,254	5,712
要介護 2	3,214	3,222	3,318	3,438	3,523	3,681
要介護 3	2,488	2,353	2,296	2,283	2,368	2,375
要介護 4	2,186	2,221	2,157	2,251	2,473	2,514
要介護 5	2,117	2,378	2,490	2,515	2,532	2,545
総数	18,334	19,175	20,076	21,280	22,860	23,900

資料：福祉部 介護保険課「介護保険事業報告」（各年度 9 月末時点）〔単位：人〕

**（２）介護サービス利用者数**

介護サービス利用者数は年々増加し、在宅サービスでは平成 21 年度の 10,185 人に比べ、平成 26 年度は 13,207 人と、約 1.3 倍に、施設・居住系サービス\*<sup>49</sup>も平成 21 年度の 4,015 人に比べ、平成 26 年度は 4,942 人と、約 1.2 倍増加しています。

介護サービス利用者数の推移（サービス利用が一部重複するため、以下 2 つの表は合計が一致しません）

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
在宅サービス	10,185	10,699	10,622	11,399	12,324	13,207
施設・居住系サービス	4,015	4,113	4,305	4,553	4,713	4,942
施設サービス	2,986	3,006	3,044	3,136	3,266	3,416
居住系サービス	1,029	1,107	1,261	1,417	1,447	1,526
合計	14,200	14,812	14,927	15,952	17,037	18,149

資料：財務部 各年度『主要な施策の成果・事務報告書』（単位：人）（平成 26 年度は見込み）

## 要支援・要介護度別サービス利用者数の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
要支援 1	1,283	1,255	1,510	1,563	1,926	2,068
要支援 2	1,631	1,626	1,612	1,693	1,705	1,737
要介護 1	2,216	2,592	3,101	3,613	4,077	4,545
要介護 2	2,864	2,890	2,959	3,186	3,262	3,426
要介護 3	2,417	2,286	2,216	2,205	2,236	2,319
要介護 4	2,008	2,058	1,981	2,064	2,273	2,368
要介護 5	1,772	1,985	2,059	2,141	2,192	2,233
総数	14,191	14,692	15,438	16,465	17,671	18,696

資料：福祉部 介護保険課「介護保険事業報告」（各年度 9 月末時点）〔単位：人〕

\*<sup>49</sup> 施設・居住系サービス（しせつ・きょじゅうけいさーびす） 179 ページ参照

### (3) 介護サービス事業者数

介護サービス事業者数は、平成21年度の541事業所と比べ、平成26年度では722事業所と181事業所増加しています。

介護サービス事業者数の推移

	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
訪問介護	99	101	102	104	121	122
訪問入浴介護	8	9	9	9	9	8
訪問看護	16	17	17	19	19	22
訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導	病院・診療所等については、指定を辞退しない限り都道府県知事の指定があったものとみなされます（みなし指定）。					
通所介護	88	97	114	126	151	166
通所リハビリテーション	14	14	15	16	16	15
短期入所生活介護	24	24	24	26	27	28
短期入所療養介護	13	14	14	14	13	14
特定施設* <sup>50</sup> 入居者生活介護	20	21	23	23	25	24
福祉用具貸与	35	37	40	41	41	39
特定福祉用具販売	30	32	37	40	40	38
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	-	-	-	-	1	3
夜間対応型訪問介護	4	4	4	4	2	2
認知症対応型通所介護	12	11	11	14	13	13
小規模多機能型居宅介護	4	4	4	5	5	8
認知症対応型共同生活介護	9	10	12	18	18	21
地域密着型 特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	-	-	1	2	2	2
居宅介護支援	116	118	125	123	133	145
介護予防支援	12	12	12	12	15	15
介護老人福祉施設	21	21	22	22	22	24
介護老人保健施設	8	8	8	8	7	7
介護療養型医療施設	8	7	6	6	6	6
合計	541	561	600	632	686	722

資料：福祉部 介護保険課（各年度4月時点）〔単位：事業所〕

※ 各事業の概要は第5章中に掲載している「サービス利用量の見込み」に掲載しております。

\*<sup>50</sup> 特定施設（とくていしせつ） 182ページ参照

## (4) 指導監督実施状況

平成18年の介護保険法の改正により、市町村に対して指導・監督の権限が付与されて以来、介護サービス事業者に対する指導・監督を実施しています。

平成26年度においては、居宅サービス事業所を100事業所、地域密着型サービス事業所を40事業所で実施予定です。

指導監督実施状況の推移

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
居宅サービス事業所	41	36	117	109	97	100
地域密着型サービス事業所	23	21	22	29	36	40
合計	64	57	139	138	133	140

資料：福祉部 指導監査課〔単位：事業所〕（平成26年度は予定数）

## (5) 標準給付費

標準給付費は、各サービスともに年々増加し、平成21年度の245.8億円に比べ、平成26年度では334.5億円と、約1.4倍増加しています。居宅サービスは平成21年度の122.4億円に比べ、平成26年度では177.3億円と、約1.4倍増加しています。地域密着型サービスは平成21年度の11.1億円に比べ、平成26年度では21.4億円と、約1.9倍増加しています。施設サービスは平成21年度の100.0億円に比べ、平成26年度では116.4億円と、約1.2倍増加しています。

標準給付費の推移

	居宅サービス	地域密着型サービス	施設サービス	その他	計
平成21年度	12,244,537	1,110,944	9,998,389	1,226,934	24,580,804
平成22年度	13,172,817	1,191,551	10,039,471	1,366,803	25,770,642
平成23年度	14,105,246	1,392,201	10,169,574	1,429,711	27,096,732
平成24年度	15,290,015	1,769,958	10,422,029	1,527,088	29,009,090
平成25年度	16,362,069	1,817,621	10,900,598	1,659,507	30,739,795
平成26年度	17,727,685	2,139,234	11,638,549	1,940,241	33,445,709

資料：福祉部 介護保険課〔単位：千円〕（平成26年度は見込み）

## (6) 地域支援事業費

地域支援事業費は、平成 21 年度の 7.1 億円に比べ、平成 26 年度では 7.8 億円と、1.1 倍増加しています。包括的支援事業は平成 21 年度の 3.5 億円に比べ、平成 26 年度では 5.5 億円と、1.6 倍増加しています。任意事業<sup>\*51</sup>は平成 21 年度に比べ、平成 26 年度では、5.2 倍増加しています。なお、介護予防事業は平成 21 年度の 3.3 億円に比べ、平成 26 年度では 1.2 億円と、6 割を超える減少となっておりますが、これは平成 24 年度以降の調査方法の変更の影響によるものです。

地域支援事業費の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
介護予防事業	334,337	346,325	347,714	82,931	101,211	118,425
包括的支援事業	354,846	368,109	382,007	492,167	521,142	554,329
任意事業	20,396	21,087	30,704	71,470	95,371	106,790
合計	709,579	735,521	760,425	646,568	717,724	779,544

資料：福祉部 介護保険課〔単位：千円〕（平成 26 年度は見込み）

## (7) 高齢者あんしん相談センターへの相談件数

高齢者あんしん相談センターに寄せられる相談件数は年々増加し、平成 26 年度（上半期）は 22,832 件となっております。内容としては「介護保険、その他の保健福祉サービス」に関することが 9 割以上を占めています。なお、平成 24 年度以降件数が大幅に増加していますが、これは相談の集計方法の変更と高齢者あんしん相談センター増設の影響によるものです。

高齢者あんしん相談センターへの相談件数の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
介護保険その他の保健福祉サービスに関する権利擁護 <sup>*52</sup>	10,844	12,325	16,394	32,806	46,191	21,244
（成年後見制度等）に関する権利擁護	487	715	825	1,184	1,835	744
高齢者虐待に関する権利擁護	477	590	652	1,144	1,334	844
合計	11,808	13,630	17,871	35,134	49,360	22,832

資料：福祉部 高齢者福祉課〔単位：件〕（平成 26 年度は上半期の実績）

\*51 任意事業（にんいじぎょう） 182 ページ参照

\*52 権利擁護（けんりようご） 177 ページ参照

## 4 アンケート調査からみた高齢者の現状

### (1) 調査対象など

調査対象	① 高齢者意識調査 (本市在住の65歳以上の方で介護保険の認定を受けていない方 1,400人) ② 要支援・要介護認定者調査 (本市在住の65歳以上の方で介護保険の認定を受けている方 1,400人)
調査方法	無記名自記式 郵送配布・郵送回収
調査期間	平成26年5月30日発送 6月18日締切
配布数 回収数	① 配布数：1,400件 有効回収数：995件 有効回収率：71.1% ② 配布数：1,400件 有効回収数：843件 有効回収率：60.2%

### (2) 主な調査結果

○以下の調査結果では、「高齢者意識調査」は「高齢者調査」または「高齢者」、「要支援・要介護認定者調査」は「認定者調査」または「認定者」と表記しています。

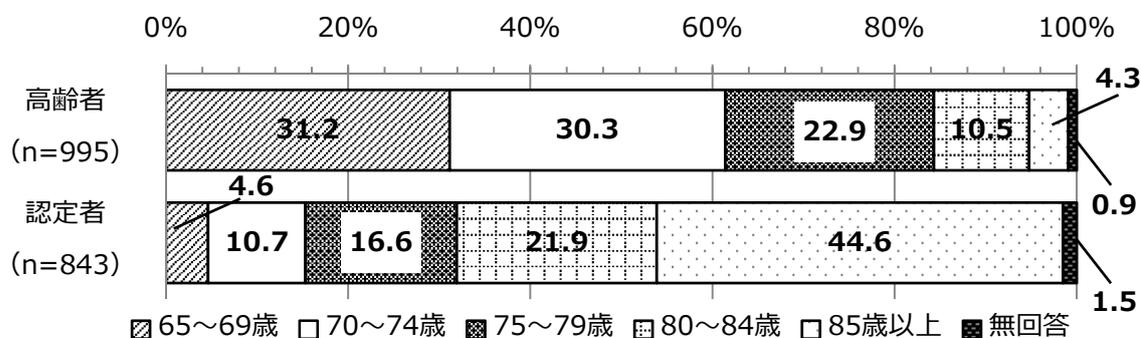
○グラフ中の「n」は回答者の人数を表しています。

○調査結果の全体については、市のホームページでご覧いただくことができます。

○なお、データの処理については、小数点以下第2位の四捨五入により、各項目の合計値が、100.0%にならない場合があります。

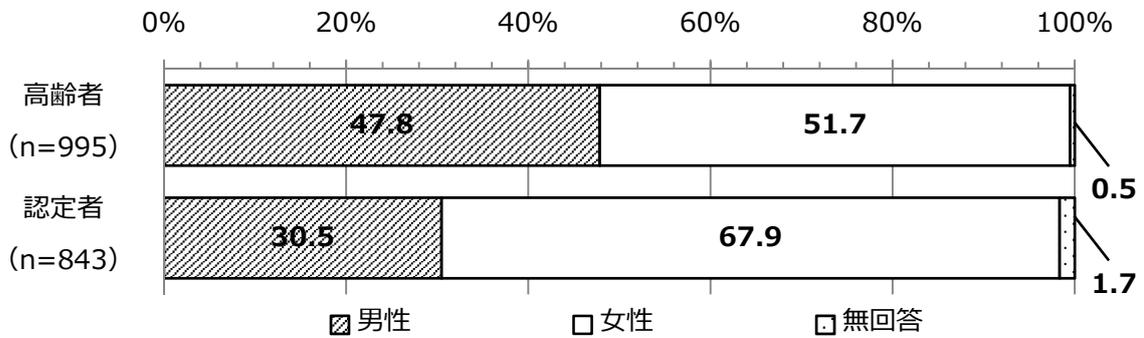
#### ① 回答者の年齢

後期高齢者（「75～79歳」、「80～84歳」「85歳以上」の合計）の割合をみると、「高齢者調査」では37.7%となっており、「認定者調査」では83.1%と大半を占めています。



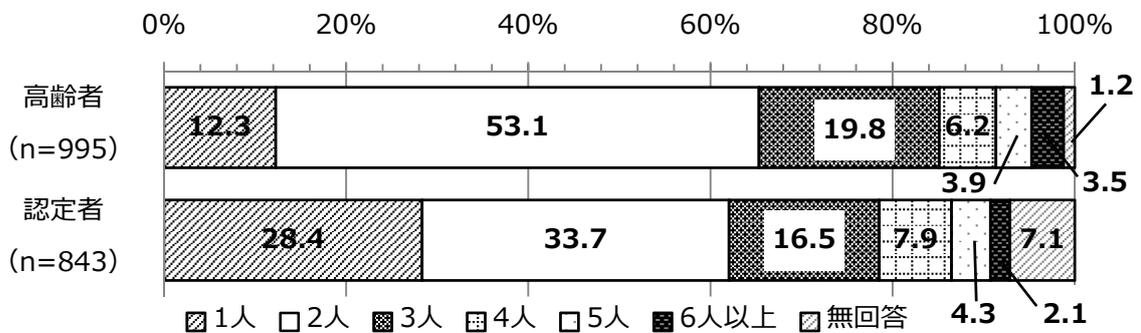
## ② 回答者の性別

「高齢者調査」では、男性が47.8%、女性が51.7%となっており、「認定者調査」では男性が30.5%、女性が67.9%で、「認定者調査」では女性が3分の2を占めています。



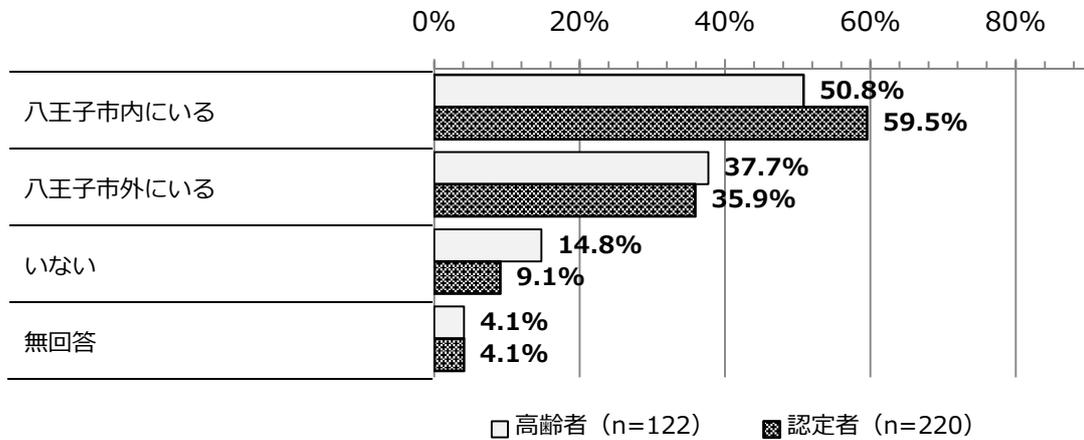
## ③ 現在の同居者の人数

「高齢者調査」・「認定者調査」ともに、現在の同居者は「2人」が最も多くなっており、「ひとり暮らし」と回答した方は、「高齢者調査」では12.3%で、「認定者調査」では28.4%と「認定者調査」全体の4分の1以上を占めています。



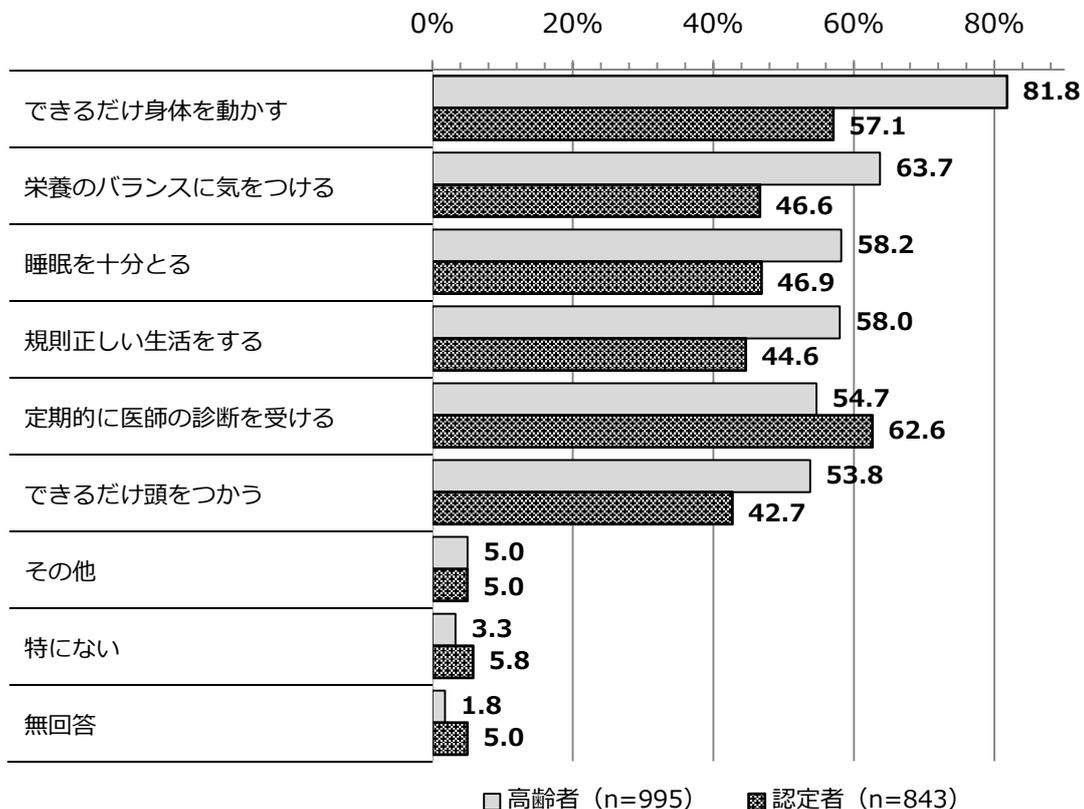
#### ④ 緊急時などに駆けつけてくれる方（複数回答）

③で「ひとり暮らし」と回答した方に、緊急時に駆けつけてくれる方の有無を質問したところ、「八王子市内にいる」が、「高齢者調査」では50.8%、「認定者調査」では59.5%となっています。



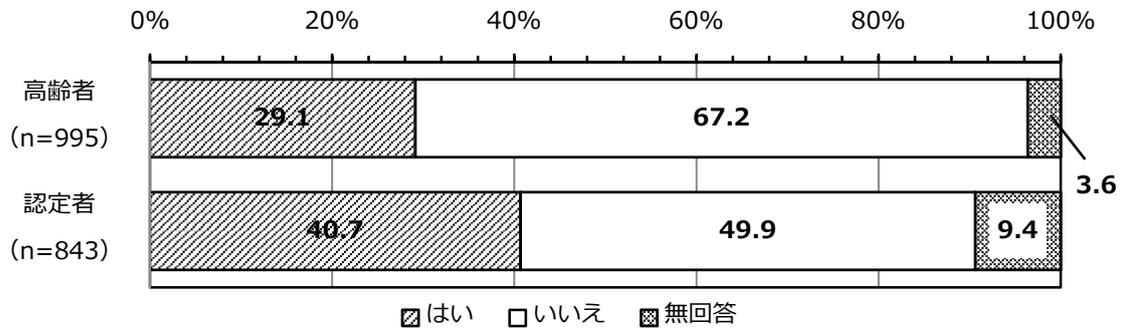
#### ⑤ 健康のために日ごろから心がけていること（複数回答）

「高齢者調査」では「できるだけ身体を動かす」と回答した方が81.8%で最も多く、次いで「栄養のバランスに気をつける」とした方が63.7%となっています。「認定者調査」では「定期的に医師の診断を受ける」と回答した方が62.6%で最も多く、次いで「できるだけ身体を動かす」とした方が57.1%となっています。



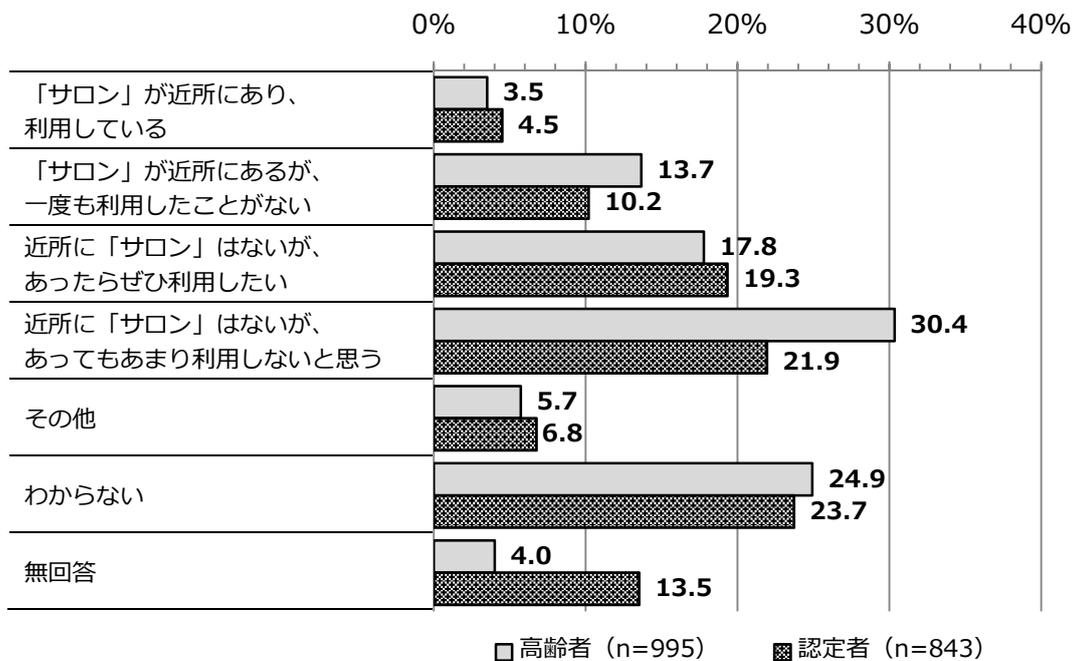
### ⑥ 日中独居の状況

「あなたは普段、日中ひとりで過ごすことが多いですか。(土日・祝日などで家族が家にいる場合を除く)」という問いに対し、「はい」と回答した方は、「高齢者調査」で29.1%、「認定者調査」で40.7%となっています。



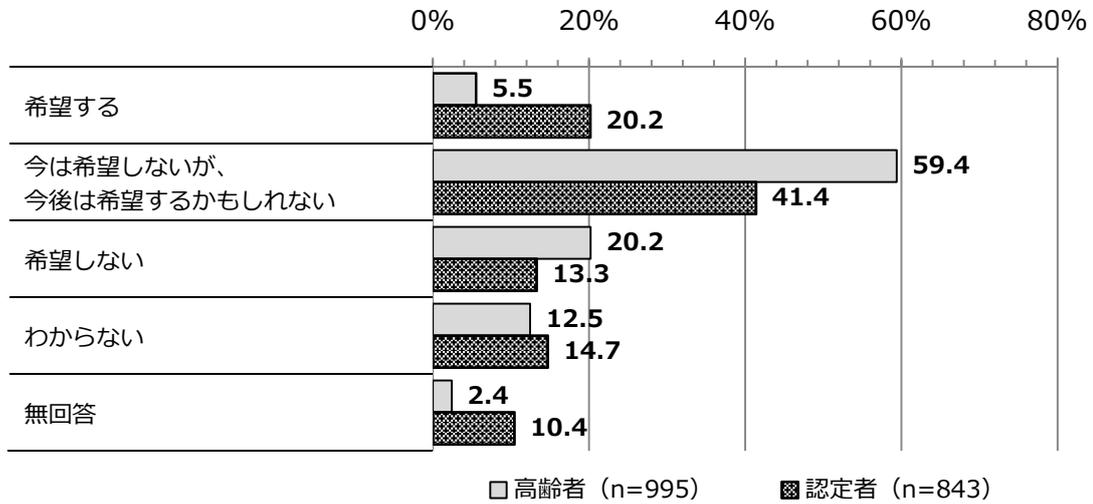
### ⑦ 高齢者向け「サロン」の利用状況・利用意向

利用状況について、「近所にサロンはないが、あってもあまり利用しないと思う」と回答した方は、「高齢者調査」では30.4%、「認定者調査」では21.9%となっています。一方、「サロンが近所にあり、利用している」方や「近所にサロンはないが、あったらぜひ利用したい」と回答した方をあわせると、「高齢者調査」では21.3%、「認定者調査」は23.8%となっており、約5人に1人の利用意向があると推測されます。



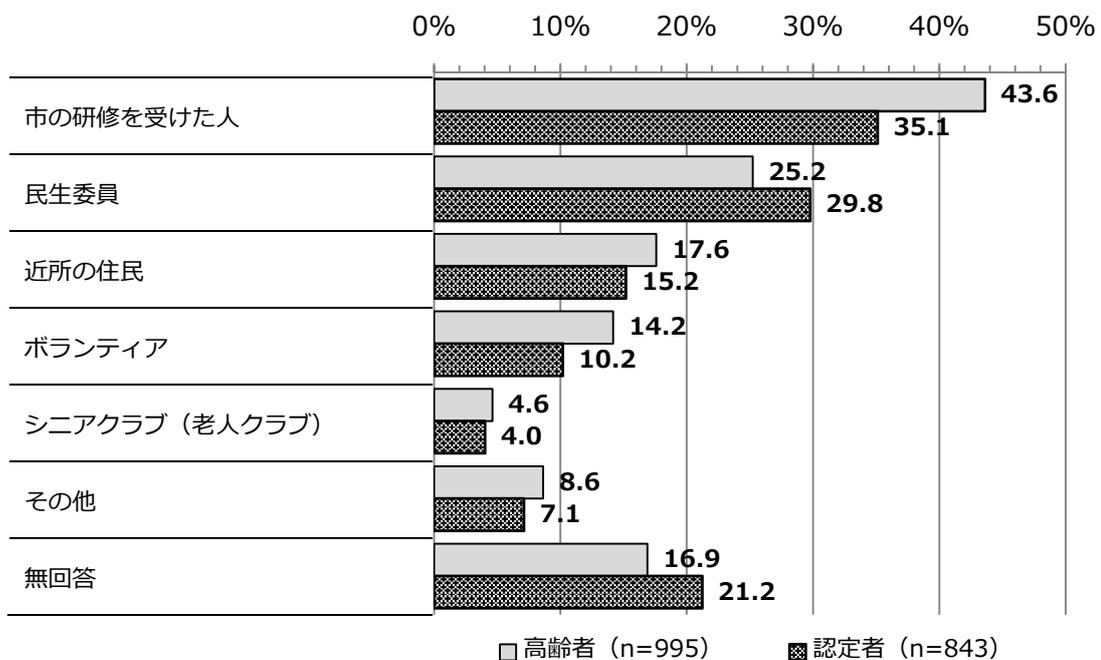
### ⑧ 見守り訪問<sup>\*53</sup>の希望

見守り訪問について「今は希望しないが、今後は希望するかもしれない」と回答した方は、「高齢者調査」では59.4%、「認定者調査」では41.4%となっています。



### ⑨ ゆるやかな見守り訪問を受ける場合に希望する相手（複数回答）

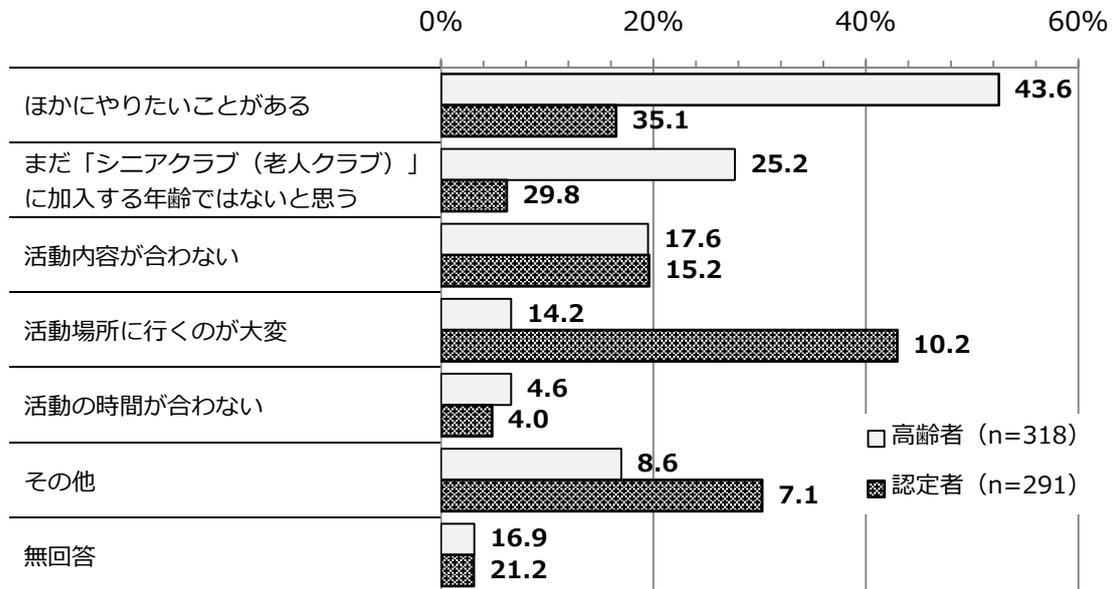
「市の研修を受けた人」を希望する方は、「高齢者調査」では43.6%、「認定者調査」では35.1%と最も多くなっており、次いで「民生委員」と回答した方が、「高齢者調査」では25.2%、「認定者調査」では29.8%となっています。



<sup>\*53</sup> 見守り訪問 (みまもりほうもん) 185 ページ参照

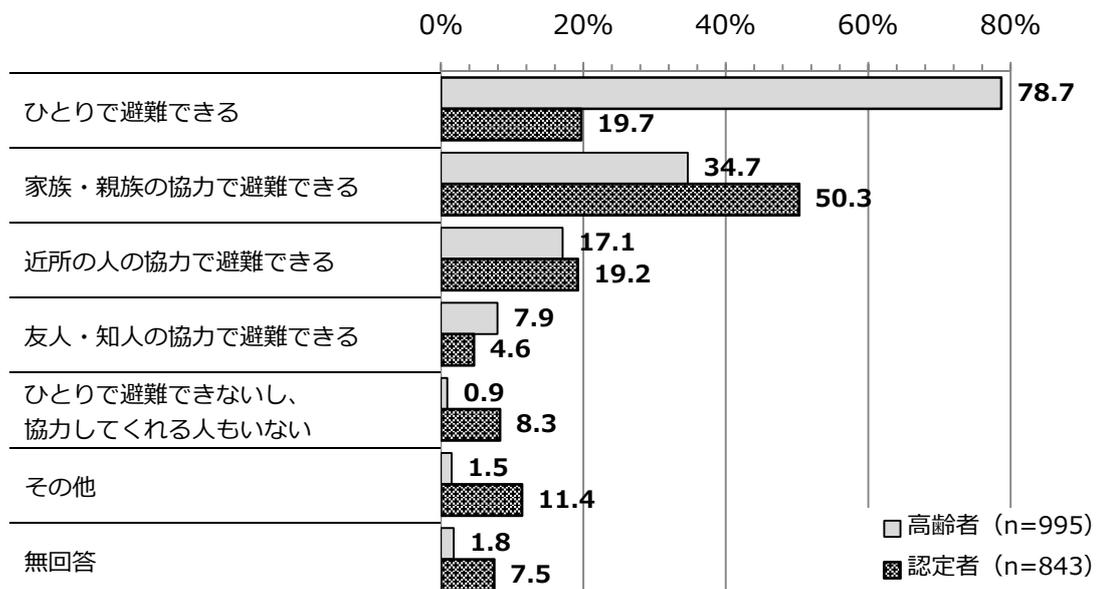
### ⑩ シニアクラブ（老人クラブ）に入りにくい理由

「シニアクラブ（老人クラブ）」に「参加したくない」と回答した方のうち、参加したくない理由として、「高齢者調査」では「ほかにやりたいことがある」と回答した方が52.5%と最も多く、「認定者調査」では「活動場所に行くのが大変」と回答した方が43.0%と最も多くなっています。



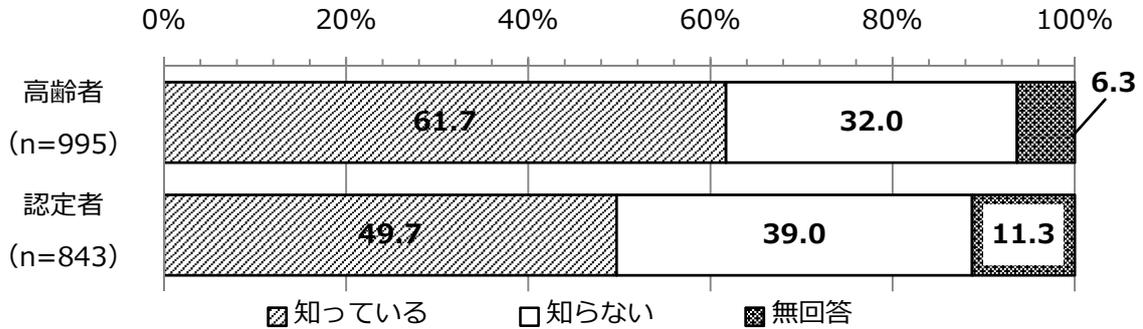
### ⑪ 災害時の避難について（複数回答）

「高齢者調査」では「ひとりで避難できる」と回答した方が78.7%と最も多く、「認定者調査」では「家族・親族の協力で避難できる」と回答した方が50.3%と最も多くなっています。その一方「ひとりで避難できないし、協力してくれる人もいない」と回答した方は、「高齢者調査」で0.9%、「認定者調査」では8.3%となっています。



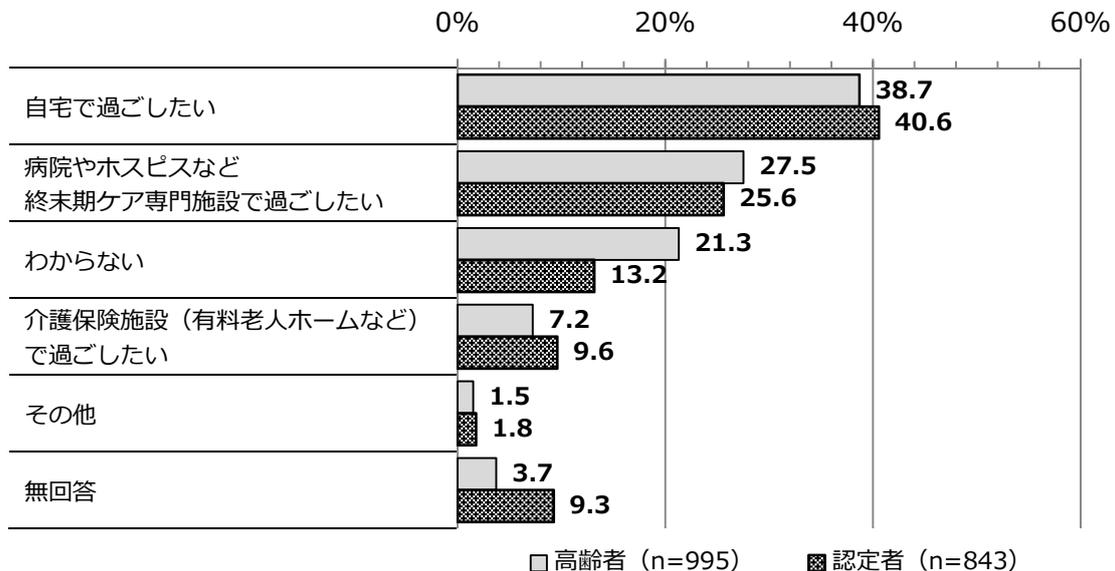
## ⑫ 成年後見制度の認知度

成年後見制度を「知っている」方は、「高齢者調査」で61.7%、「認定者調査」では49.7%となっています。



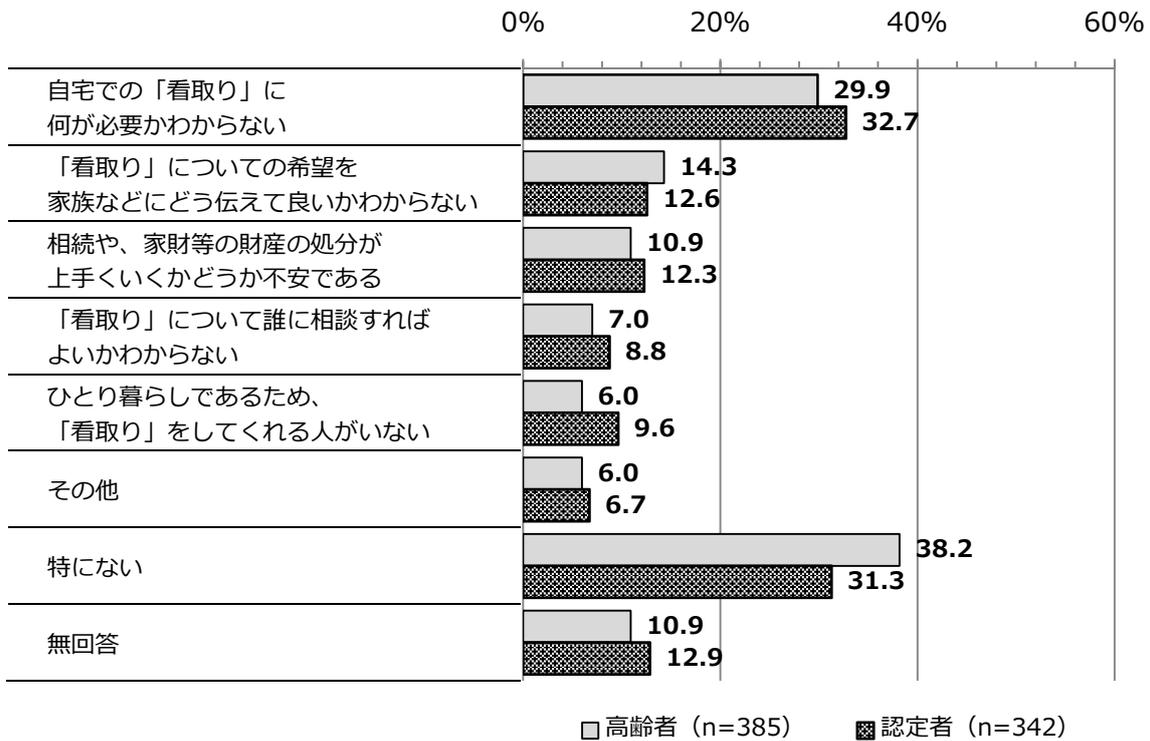
## ⑬ 治る見込みのない病気になった場合、最期を過ごしたい場所

「自宅で過ごしたい」と回答した方がどちらの調査でも最も多くなっており、「高齢者調査」では38.7%、「認定者調査」では40.6%となっています。次いで「病院やホスピスなど終末期ケア専門施設で過ごしたい」と回答した方が、「高齢者調査」では27.5%、「認定者調査」では25.6%となっています。



⑭ 自宅などで「看取り\*<sup>54</sup>」を迎える場合、課題や不安な点（複数回答）

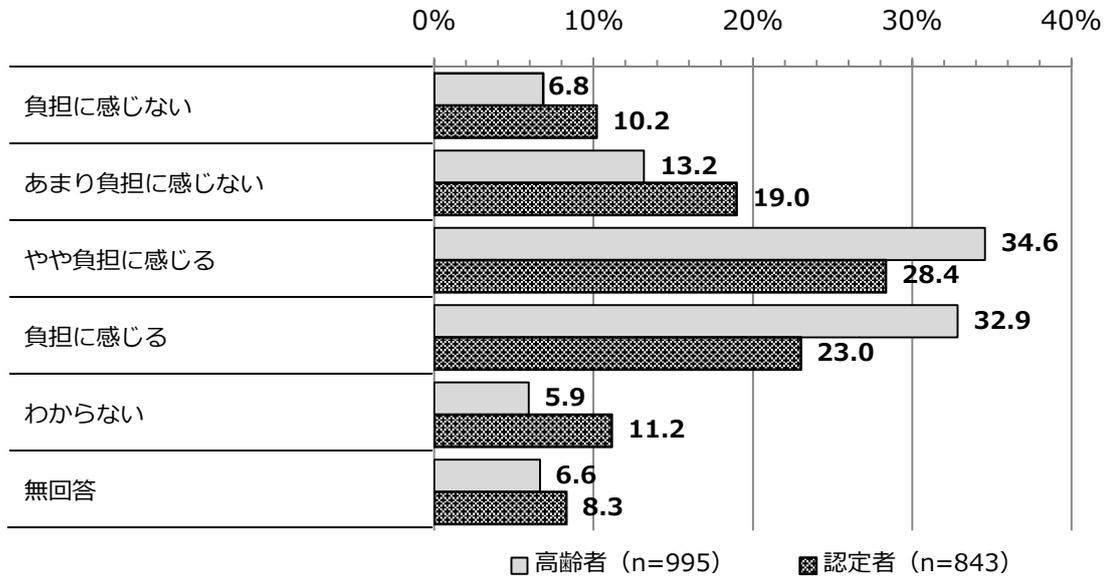
⑬で「自宅で過ごしたい」と回答した方に、自宅などで「看取り」を迎える場合の課題や不安な点について質問したところ、「自宅での看取りに何が必要かわからない」と回答した方が、「高齢者調査」では29.9%、「認定者調査」では32.7%となっています。



\*<sup>54</sup> 看取り（みとり） 185 ページ参照

### ⑮ 介護保険料の負担感

「高齢者調査」では「やや負担に感じる」と回答した方が34.6%と最も多く、次いで「負担に感じる」とした方が32.9%となっています。「認定者調査」では「やや負担に感じる」と回答した方が28.4%と最も多く、次いで「負担に感じる」とした方が23.0%となっています。



### ⑯ 今後の介護について希望すること

「家族などの介護や介護保険サービスを利用して、できる限り自宅で暮らしたい」と回答した方がどちらの調査でも最も多くなっており、「高齢者調査」では52.3%、「認定者調査」では54.7%と、どちらも半数以上となっています。

